

令和元年度「学校評価」の分析と改善の方策

令和2年2月 宮城県美田園高等学校

令和元年10月～11月実施

設 問 1	校訓について		
生徒	私は美田園高校の校訓を知っている。		
数字は%を表しています	生徒		
	R1	H30	H29
	よくあてはまる	18.4%	20.8%
	だいたいあてはまる	41.2%	41.2%
	あまりあてはまらない	15.9%	17.6%
	あてはまらない	9.0%	5.9%
	よくわからない	15.5%	14.5%
	7.7%		
アンケート結果の分析内容	肯定的評価をした生徒の割合は昨年度よりやや下がりました。新入生の肯定的評価の割合が高く、入学4年目以降の生徒の割合が低いなどの傾向はここ3年間同じです。新入生に比べると、在校生は時間の経過とともに校訓に対する意識が薄れていくものと思われます。		
改善の方策	校訓を目にする機会を増やすために、今年度新たにレポート提出用・返送用の封筒に校訓を印刷しました。校訓の中でも特に「能動」は、本校で学習していくために最も必要とされる姿勢です。その重要性を今後も年度HRや各種通信物を活用して、繰り返し生徒に伝えていきたいと思います。		

設 問 2	レポート添削・スクーリングについて								
生徒	美田園高校では、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくようなレポート添削・スクーリングが行われている。								
保護者	美田園高校では、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくようなレポート添削、スクーリングが行われている。								
教職員	美田園高校は、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくレポート添削・スクーリングを行っている。								
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	R1	H30	H29
	よくあてはまる	19.9%	27.8%	28.0%	27.4%	28.2%	31.3%	18.5%	28.6%
	だいたいあてはまる	57.0%	56.5%	59.2%	56.5%	60.4%	59.2%	77.8%	64.3%
	あまりあてはまらない	9.7%	10.6%	8.9%	4.8%	3.4%	2.0%	0.0%	0.0%
	あてはまらない	2.9%	1.4%	1.3%	0.0%	0.7%	1.4%	0.0%	0.0%
	よくわからない	10.5%	3.7%	2.5%	11.3%	7.4%	6.1%	3.7%	7.1%
	0.0%							0.0%	
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合が保護者については変化は見られないものの、生徒については10ポイント弱減少しております。これは否定的評価が増加したというよりは「よくわからない」を選んだ生徒が増加したものをそのまま反映したものと思われます。								
改善の方策	各科目で工夫を凝らしてレポート添削・スクーリングを実施しておりますが、今後もさらに全ての生徒が興味・関心を持って取り組めるよう、レポートの作成やICTを活用したスクーリング実施など工夫をしていきます。								

設 問 3	スクーリングについて		
生徒	美田園高校のスクーリングはレポート作成に役立っている。		
数字は%を表しています	生徒		
	R1	H30	H29
よくあてはまる	47.7%	51.9%	59.1%
だいたいあてはまる	40.4%	39.8%	34.4%
あまりあてはまらない	5.1%	5.1%	3.2%
あてはまらない	1.1%	1.4%	2.6%
よくわからない	5.7%	1.9%	0.6%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価が9割程度であることから、各担当教員が分かりやすいスクーリングを心がけ実施していると思われます。		
改善の方策	「設問2」と同様、今後もさらに興味・関心を深められるような自作教材の提示を行う、ICTを活用する等レポート作成に役立つスクーリングを組み立てていくなどの工夫をしていきます。		

設 問 4	進路指導について								
生徒	美田園高校では、進路目標を明確にするための指導が適切に行われている。								
保護者	美田園高校では、進路目標の明確化に向けた生徒への指導が適切に行われている。								
教職員	美田園高校は、適切な進路指導を行っている。								
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	R1	H30	H29
よくあてはまる	17.7%	17.5%	25.6%	16.1%	14.8%	21.2%	32.1%	46.4%	36.7%
だいたいあてはまる	47.3%	44.8%	46.8%	51.2%	59.7%	45.2%	57.1%	50.0%	56.7%
あまりあてはまらない	9.0%	14.2%	10.3%	8.3%	8.1%	14.4%	10.7%	0.0%	0.0%
あてはまらない	3.2%	1.9%	1.3%	1.8%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
よくわからない	22.8%	21.7%	16.0%	22.6%	14.8%	19.2%	0.0%	3.6%	6.7%
アンケート結果の分析内容	保護者の肯定的評価が7ポイントほど下がり、「よくわからない」の回答が8ポイント弱増加しています。今年度新たに保護者対象に進路説明会も開催しましたが、参加人数は期待したほど多くはありませんでした。進路行事の周知不足や保護者ニーズとのズレもこの要因の1つであると思います。								
改善の方策	今年度、生徒に対する働きかけを強化し、進路室来校のべ生徒数は、去年同期比78名増の468名となっています。一方、次年度は保護者向けの説明会や行事の開催案内の周知改善に向け、紙媒体の案内に加え、M－eラーニング等での案内も行います。また、説明会等の内容を保護者ニーズに、よりマッチするものへと改善を図ります。								

設 問 5	基本的な生活習慣について								
生徒	美田園高校では、社会生活を営むうえで必要なマナーを身につけるような指導が適切に行われている。								
保護者	美田園高校では、社会生活を営むうえで必要なマナーを身につけるような指導が適切に行われている。								
教職員	美田園高校は、生徒が、基本的な生活習慣を身につけられるよう指導している。								
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	R1	H30	H29
よくあてはまる	17.3%	20.9%	20.0%	15.5%	14.8%	14.6%	10.7%	17.9%	14.8%
だいたいあてはまる	45.5%	41.9%	45.8%	48.8%	55.0%	50.7%	67.9%	64.3%	63.0%
あまりあてはまらない	13.7%	18.1%	20.0%	8.9%	12.8%	13.2%	21.4%	17.9%	11.1%
あてはまらない	2.9%	3.7%	3.9%	1.2%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	7.4%
よくわからない	20.6%	15.3%	10.3%	25.6%	16.8%	20.8%	0.0%	0.0%	3.7%
アンケート結果の分析内容	生徒の肯定的評価の割合が60～70%の範囲で推移しており、否定的評価の16%に比べ多くなっています。今年度も職員評価では「あてはまらない」の割合が0%となりました。マナーアップ標語の掲示も3年目に入り定着してきたようです。今後も効果が期待されます。								
改善の方策	校内マナーアップ標語コンテストの実施を評価する意見も寄せられており、効果を実感しているところです。ルールやマナーについて意識する機会をできるだけ多くできるように、この活動はより充実させます。日常的にはその場でタイムリーな指導ができるよう共通理解をさらに図ります。								

設 問 6	相談の体制について										
生徒	美田園高校では、先生やカウンセラーが、必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。										
保護者	美田園高校では、先生やカウンセラーが、必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。										
教職員	美田園高校では、教員やカウンセラーが、必要なときに生徒・保護者の相談に応じられる体制ができている。										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員				
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	R1	H30	H29		
	よくあてはまる	33.6%	47.9%	50.3%	33.3%	39.3%	42.1%	60.7%	64.3%		63.3%
	だいたいあてはまる	39.4%	34.0%	34.8%	46.4%	45.3%	44.1%	39.3%	35.7%		33.3%
	あまりあてはまらない	6.1%	4.7%	3.9%	6.0%	5.3%	4.8%	0.0%	0.0%		3.3%
	あてはまらない	2.5%	1.4%	1.3%	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
	よくわからない	18.4%	12.1%	9.7%	13.7%	8.7%	9.0%	0.0%	0.0%		0.0%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合は大きいものの、昨年度より保護者は5ポイント、生徒は9ポイント減少しています。特に2019年度生徒の肯定的評価が、他年度生と比較すると低くなっています。										
改善の方策	今後もHPや通信物等でカウンセリング予定を発信していくとともに、担任面談等で相談体制があることや、気軽に保健室利用も可能なことを、今後も繰り返し生徒、保護者に周知を図ります。										

設 問 7	生徒会活動について									
生徒	美田園高校の生徒会活動は活発である。									
保護者	美田園高校の生徒会活動は活発である。									
教職員	美田園高校の生徒会は、活発な活動を行っている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	R1	H30	H29	
	よくあてはまる	15.9%	19.2%	15.1%	13.1%	10.7%	11.9%	28.6%	32.1%	34.5%
	だいたいあてはまる	32.1%	36.0%	46.1%	36.9%	47.7%	39.2%	67.9%	64.3%	55.2%
	あまりあてはまらない	11.9%	12.1%	11.8%	10.1%	9.4%	9.8%	3.6%	3.6%	6.9%
	あてはまらない	3.2%	1.9%	0.7%	0.6%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	よくわからない	36.9%	30.8%	26.3%	39.3%	32.2%	36.4%	0.0%	0.0%	3.4%
アンケート結果の分析内容	「よくわからない」の回答が増えています。生徒会行事はHRの時間に集中しており、HRにあまり出席しない生徒は、生徒会が具体的にどのような活動をしているのか知らないためと思われます。									
改善の方策	月1回発行の「みたぞの」では全ての生徒会行事を告知していますが、実施されるまでにタイムラグがあります。生徒交流HRなど、一部の行事で当日に案内をラウンジ前の電子黒板に掲示していますが、生徒会主催のすべての行事で掲示する必要があると考えます。									

設 問 8	学校行事について						
生徒	美田園高校の学校行事(遠足, 運動会, 年度HRなど)は, 有意義である						
保護者	美田園高校の学校行事(遠足, 運動会, 年度HRなど)は, 生徒にとって有意義なものが設定されている。						
数字は%を表しています	生徒			保護者			
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	
	よくあてはまる	17.7%	25.6%	32.0%	21.4%	21.6%	23.6%
	だいたいあてはまる	39.7%	44.2%	43.1%	50.0%	56.8%	52.8%
	あまりあてはまらない	14.1%	9.8%	8.5%	10.1%	10.1%	9.7%
	あてはまらない	4.0%	4.7%	2.0%	1.2%	1.4%	0.7%
	よくわからない	24.5%	15.8%	14.4%	17.3%	10.1%	13.2%
アンケート結果の分析内容	今年度は遠足の実施はできませんでした。その関係もあって前年より肯定的評価が少なくなったものと考えます。しかし今年度は初の試みである「ステージ発表会」を実施することができました。生徒の良い面を引き出すような行事を今後も実施したいと思います。						
改善の方策	「ステージ発表会」実施後のアンケートでは90%以上の生徒が継続を望んでいました。これは今後も実施していく予定ですが, 宣伝活動も行い多くの生徒が参加できるような行事にします。また遠足と運動会も多くの生徒が楽しみにしている行事なので, 内容は今後の検討となりますが, 来年度実施する予定です。						

設 問 9	単位修得の仕組みについて						
生徒	単位修得の仕組みを理解している。						
教職員	学校は、適切な科目登録の指導を行っている。						
数字は%を表しています	生徒			教職員			
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	
	よくあてはまる	57.8%	66.4%	70.3%	39.3%	33.3%	32.1%
	だいたいあてはまる	27.1%	26.3%	25.2%	50.0%	59.3%	60.7%
	あまりあてはまらない	6.9%	5.5%	3.2%	10.7%	3.7%	7.1%
	あてはまらない	0.7%	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	よくわからない	7.5%	1.4%	0.6%	0.0%	3.7%	0.0%
アンケート結果の分析内容	生徒の肯定的評価が減少傾向にあります。特に、新入学生の肯定的評価の減少が顕著です。長く慣れ親しんだ「授業に出席して試験を受験する」仕組みと、通信制高校の「報告課題と面接指導をクリアして試験の受験資格を得る」仕組みとの違いに戸惑いを感じているからではないかと考えています。						
改善の方策	新入学生のオリエンテーション、面接指導日のホームルーム活動、担任との随時面談、月例の発送物、生徒専用webページ等の様々な機会を通して自学自習・自己管理の生活の軌道に乗せられるように指導し、単位修得への道筋をつくれるようにしたいと思います。また、ホームページに掲載している単位認定のページを、高等学校の「単位」を知らない中学生にもわかりやすいページになるように修正し、入学前でも単位修得の仕組みが把握しやすいように改善したいと思います。						

設 問 10	一斉配信メールについて						
生徒	学校からの一斉配信メールを登録している。						
保護者	学校からの、一斉配信メールを知っている。						
数字は%を表しています	生徒			保護者			
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	
	よくあてはまる	54.9%	51.4%	64.3%	57.1%	52.0%	59.3%
	だいたいあてはまる	9.7%	13.3%	9.1%	18.5%	24.0%	23.4%
	あまりあてはまらない	3.6%	1.9%	5.2%	2.4%	5.3%	2.8%
	あてはまらない	15.9%	22.4%	15.6%	2.4%	1.3%	2.1%
	よくわからない	15.9%	11.0%	5.8%	19.6%	17.3%	12.4%
アンケート結果の分析内容	入学時に一斉メール登録の案内を行なうとともに、5月の防災訓練時に一斉メールのテスト送信も行っているものの、肯定的評価が減少しています。周知機会が不足しているものと考えています。						
改善の方策	一斉メールで伝達する情報は、緊急度・重要度が高いので、確実に伝わるように、登録の呼びかけの機会を増やし、年度初めだけではなく、集会やホームルームでの周知にも力を入れます。						

設 問 11	災害・非常時の避難方法について						
生徒	学校での、災害・非常時の避難方法を知っている。						
保護者	学校は、災害・非常時の避難方法を生徒に伝えている。						
数字は%を表しています	生徒			保護者			
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	
	よくあてはまる	21.7%	22.9%	28.1%	36.3%	30.1%	45.5%
	だいたいあてはまる	37.2%	35.5%	39.2%	32.1%	41.8%	31.7%
	あまりあてはまらない	16.6%	16.8%	20.3%	3.6%	8.2%	3.4%
	あてはまらない	5.8%	7.0%	5.2%	3.6%	0.0%	2.1%
	よくわからない	18.7%	17.8%	7.2%	24.4%	19.9%	17.2%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合が保護者も生徒も減少し、「よくわからない」という回答も多くなっています。最近の災害は大規模かつ種類も様々で、その都度避難場所や避難方法が違いため、具体的な避難について不明確で不安を感じている人が増えているものと思われます。						
改善の方策	命に関わる大切な内容なので、大多数の理解を目指しています。今年度からM-eラーニングにも防災のページを作成し、通信物と併せて周知を図っています。来年度はさらに周知が図れるよう取り組みます。						

設 問 12	郵送物について								
生徒	学校だより『みたぞの』や年度だより等の郵送物で、学校の情報を十分得ることができている。								
保護者	学校だより『みたぞの』や年度だより等の郵送物で、学校の情報を十分得ることができている。								
教職員	学校だより『みたぞの』やその他の郵送物は、情報発信として十分な内容である								
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	R1	H30	H29
よくあてはまる	37.5%	51.9%	48.3%	41.1%	45.6%	39.6%	39.3%	40.7%	30.0%
だいたいあてはまる	44.0%	38.2%	46.3%	42.9%	45.0%	48.6%	60.7%	55.6%	70.0%
あまりあてはまらない	6.1%	3.3%	3.4%	3.6%	4.0%	6.3%	0.0%	3.7%	0.0%
あてはまらない	2.5%	2.4%	0.7%	1.2%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
よくわからない	9.9%	4.2%	1.4%	11.2%	5.4%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価が生徒・保護者ともに8割程度と、昨年度よりどちらも10ポイント減となっています。否定的評価、「よくわからない」がわずかに増加しているものと思われます。								
改善の方策	本校の家庭との連絡については、毎月の郵送物が基本であり定着していると考えられます。否定的評価、「よくわからない」がわずかに増加しているという傾向の改善に向けて、郵送物の充実に加えて、ホームページ、M－eラーニングへの掲載をするなど、学校の様子を伝える情報発信を工夫していきます。								

設 問 13	生徒の学校生活について								
生徒	学校での生活は充実している								
保護者	生徒の学校生活は充実している。								
教職員	生徒の学校生活は充実していると思う								
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	R1	H30	H29
よくあてはまる	17.7%	19.9%	24.3%	24.4%	20.0%	26.4%	7.1%	10.7%	6.7%
だいたいあてはまる	44.4%	46.9%	52.1%	41.7%	52.7%	50.0%	64.3%	50.0%	63.3%
あまりあてはまらない	15.5%	18.0%	13.9%	11.3%	13.3%	10.4%	17.9%	25.0%	16.7%
あてはまらない	6.9%	8.5%	4.9%	3.0%	4.0%	2.8%	0.0%	3.6%	0.0%
よくわからない	15.5%	6.6%	4.9%	19.6%	10.0%	10.4%	10.7%	10.7%	13.3%
アンケート結果の分析内容	生徒・保護者の肯定的評価の割合が昨年よりやや減少し、教職員は増加しました。教職員は、校内で友人と談笑したり、仲間同士で励まし合って学習に取り組んだりする生徒の姿を目にする機会が多いことがこの結果につながっているものと思われます。一方、生徒・保護者の否定的評価の割合も減少しており、「十分に満足」とまではいかないまでも、本校での学校生活にある程度は満足していただいていることの表れではないかと思えます。								
改善の方策	これまで同様、生徒の学習活動を充実させ、学習を継続して単位を修得させることを第一の目標として、スクーリングやレポートにおける指導はもちろん、個別学習支援やMyスタなどにも積極的に取り組んでいきます。また、生徒が豊かな人間関係を築く手助けとなるよう、各種学校行事を工夫・改善するとともに、HPを通じて行事の様子を発信するなど、関心を高める取り組みを実施していきたいと思えます。								

設 問 14	生徒・保護者への学校の対応について								
生徒	美田園高校の先生方は、疑問や質問にいてねいに対応してくれる。								
保護者	美田園高校の教職員は、対応がいてねいである。								
教職員	学校は、生徒や保護者にいてねいな対応をしている。								
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	R1	H30	H29
よくあてはまる	37.9%	47.3%	52.7%	40.5%	43.7%	42.0%	33.3%	46.4%	37.0%
だいたいあてはまる	37.5%	43.0%	37.7%	39.3%	46.4%	44.8%	59.3%	50.0%	63.0%
あまりあてはまらない	3.6%	4.3%	3.4%	4.2%	4.0%	4.2%	7.4%	3.6%	0.0%
あてはまらない	1.8%	0.0%	0.7%	0.6%	2.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
よくわからない	19.2%	5.3%	5.5%	15.4%	3.3%	8.4%	0.0%	0.0%	0.0%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合が昨年より減少していますが、否定的評価の割合の方は5%前後で推移していることから、我々教職員の対応は、おおむね好意的に受け取られているものと考えています。								
改善の方策	これまで同様、生徒の学習をサポートしていくとともに、疑問や質問には生徒の気持ちを尊重してその場にふさわしい適切な対応を心がけ、電話や通信物による対応にも丁寧に取り組んでいきます。								

設 問 15	通信制の学習スタイルについて						
生徒	通信制における自学自習を基本とする学習スタイルが自分には合っている。						
保護者	生徒には、通信制における自学自習を基本とする学習スタイルが合っている。						
数字は%を表しています	生徒			保護者			
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	
	よくあてはまる	38.3%	48.0%	51.0%	48.2%	46.4%	50.0%
	だいたいあてはまる	34.7%	33.3%	36.7%	33.9%	40.4%	39.6%
	あまりあてはまらない	5.4%	9.3%	6.1%	4.8%	7.3%	4.2%
	あてはまらない	2.9%	1.5%	1.4%	1.2%	1.3%	2.1%
	よくわからない	18.7%	7.8%	4.8%	11.9%	4.6%	4.2%
アンケート結果の分析内容	本校の学習スタイルに合っていると感じている生徒・保護者が多数を占めているものの、肯定的評価の合計が昨年度に比べて生徒・保護者ともに10ポイント弱減となっており、生徒・保護者とも「よくわからない」が増加しております。						
改善の方策	「自学自習」が自分の学習として合っていないと感じている生徒については、少しずつ自分の学習スタイルとして「自学自習」を身につけられるよう、生徒が登校した際に教師が積極的に生徒にアドバイスをするなど指導の工夫をしていきたいと考えています。						

設 問 16	日常の教育活動について			
教職員	美田園高校の職員は、組織の一員として日常の教育活動に当たっている。			
数字は%を表しています	教職員			
	R1	H30	H29	
	よくあてはまる	39.3%	28.6%	40.0%
	だいたいあてはまる	60.7%	67.9%	56.7%
	あまりあてはまらない	0.0%	3.6%	3.3%
	あてはまらない	0.0%	0.0%	0.0%
	よくわからない	0.0%	0.0%	0.0%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合はここ3年、9割を超える高い水準が続いています。生徒の学習継続や社会的自立を支える取組の推進を掲げて、日々の業務に努力してきた結果の表れではないかと思われます。			
改善の方策	今までも「県内唯一の公立通信制高校」という、本校に与えられた使命を果たすべく取り組んで参りましたが、2年後に実施される「学習指導要領」改訂に向けて、さらに一層全職員が一体となり日々の教育活動に取り組んで参ります。			

設 問 17	分掌目標の実現について				
教職員	美田園高校の職員は、分掌目標の実現のために努力している。				
数字は%を表しています	教職員				
	R1	H30	H29		
	よくあてはまる	32.1%	35.7%		40.0%
	だいたいあてはまる	67.9%	64.3%		56.7%
	あまりあてはまらない	0.0%	0.0%		3.3%
	あてはまらない	0.0%	0.0%		0.0%
	よくわからない	0.0%	0.0%		0.0%
アンケート結果の分析内容	「設問16」同様、肯定的評価の割合は例年高い水準が続いています。各分掌が担当する業務は、いずれも学校全体として取り組むべき課題であるという意識を職員全体が持っていることの表れではないかと思われます。				
改善の方策	一人一人が担当する各分掌の業務が、学校全体の課題や教育目標につながっているという意識を忘れずに、今後も各分掌の目標を実現すべく努力していきたいと思います。				